

カムカムエヴリバディ！マイボーム腺機能不全Update

福岡 詩麻^{1,2,3)}，有田 玲子^{1,4)}，白川 理香^{1,3)}，川島 素子^{1,5)}，松本 玲^{1,6)}
Shima Fukuoka^{1,2,3)}

LIME研究会¹⁾，大宮はまだ眼科西口分院²⁾，東京大³⁾，伊藤医院⁴⁾，久喜かわしま眼科⁵⁾，レイ眼科クリニック⁶⁾
LIME¹⁾，Omiya Hamada Eye Cl²⁾，Tokyo Univ³⁾，Itho Cl⁴⁾，Kuki Kawashima Eye Cl⁵⁾，Ray Cl⁶⁾

マイボーム腺機能不全（以下MGD）は、わたしたち眼科医が一般眼科外来で遭遇する最も多い疾患のひとつである。最近では高齢者だけでなく小児から青年期にわたっても患者数が増加しており、Quality of Life、Quality of Visionを著しく低下させている。なかなか特効薬といえるような治療法がなく、眼表面疾患最後のUnmet needsとして、日本国内だけでなく海外でもその診断、治療に注目が集まっている。日本では、ここ数年、アジスロマイシン点眼薬やIntense Pulsed Light（IPL）など複数の治療オプションの出現により、MGDを積極的に診断し、積極的に治療する機運が高まっている。しかし、MGDは眼瞼炎の側面とドライアイの側面があることから、その診断・治療・病態の理解が複雑で、MGDの診断から治療まで系統だって学べるチャンスはまだ多くはない。本講座では、MGDの定義・分類・診断基準をもとに、それに必要な検査のコツ、病態に基づいたMGDの治療をホームケアから積極的な治療まで、多くの写真や動画を用いてわかりやすくお話させていただく予定である。

1. MGDの定義、分類、診断基準、病態
2. MGDの検査 [自覚症状・眼瞼縁・マイボグラフィ]
3. MGDの治療 [マイボケア（温罨法・眼瞼清拭）・圧出]
4. MGDの治療 [点眼薬・内服・食事]
5. MGDの治療 [IPL・LipiFlow]

【利益相反公表基準：該当】 有

【IC：取得】 有

【倫理審査：承認】 有